

様式第2号（政務活動実施報告書）

令和5年 2月 13日

井原市議会議長
大滝 文則 様

井原市議会議員 柳井 一徳

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和5年2月8日（水）～2月9日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	開催場所：両日ともに東京都リファレンス新有楽町ビル 東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2F
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	2月8日（水）10:00～12:30 研修名：財政基礎研修 決算カード1「収入の基礎徹底解説」 14:00～16:30 決算カード2「支出の基礎徹底解説」 2月8日（金）10:00～12:30 決算カード3「財政収支の見方」 14:00～16:30 決算カード4「財政指標の見方」
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師 2月8日～9日：森 裕之氏（立命館大学教授）
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



研修日 令和5年2月8～9日 東京

講義項目 財政基礎研修 決算カードでわかる我が街の財政徹底解説編

8日 10:00～12:30

決算カード1 収入の基礎徹底解説

14:00～16:30

決算カード2 支出の基礎徹底解説

9日 10:00～12:30

決算カード3 財政収支の見方

14:00～16:30

決算カード4 財政指標の見方

講師 立命館大学の森裕之教授

自治体財政の仕組みは家庭での家計と同じで難しく考えなくてもよいことから講義が始まった。家計の収入が自治体の歳入で、支出が歳出、貯金が基金等、借金が地方債残高等でお金が流れる。自治体用語が専門語でわかりにくくしているが基本は同じでわかりやすく理解できた。

井原市の令和2年度決算カードを使い、大まかには、歳入合計は地方税と国から交付の地方交付税からと国からの補助金、寄付金などから構成される。地方税と地方交付金が一般財源であり、歳入全体の45.5%に当たる。歳出には性質別歳出として、義務的経費があり主に人件費や扶助費や公債費が用途である。それを部署ごとに振り分けて使うのが目的別歳出という。一般財源を財源とし公民館建設など目的別に普通建設事業費を加え、歳出の決算額が確定する。一般財源と普通建設事業費を加えたのが決算額ということになる。

具体的には、本市では一般財源が約151億円で普通建設事業費が約56億円で合計287億円が決算額である。予算額は約289億円となっていてその差額、約2億円は次年度繰越金とされる。そのようなことを詳しく学んだ。

所感

本市の財政内容を調査し、チェックしていくのが我々の業務の一つであり確認できる目を養うことが大事と改めて痛感した。以前に一般質問した公共施設の老朽化は今後大きく財政を逼迫することは確実であり、自由に使える財政調整基金や用途が限定される目的基金などの取り崩しが益々増えると考えられる。このようなことをチェックする一つの指標が経常収支比率であり、数値が90%を大きく超えると余裕のない財政運営となる。幸い本市では90%前後で推移しておりたちまち財政破綻の心配はないが、基金の取り崩しは計画的にまた、必要に応じたものであるかなど、今回学んだことを活かし、財政運営を厳しくチェックし、市民福祉の増進につながる市政となるよう議会活動に励む所存である。